

久留米市子どもの生活実態調査報告書 概要版

1 調査の概要

子どもやその保護者の生活実態を把握するため、市内在住の小中学生及びその保護者を対象としたアンケートを実施。

調査対象	久留米市在住の小学5年生・中学2年生とその保護者
調査方法	郵送配布・郵送回答
有効回収数（回収率）	小中学生 2,110人（35.2%）、保護者 2,134人（35.6%）
調査期間	令和6年10月28日から令和6年11月17日まで

2 調査結果の概要

①生活困難度

全体としては、前回調査と比べ、「低所得」や「家計の逼迫」の割合は減っており、生活困難層の割合も減っている。

生活困難度を測る3つの要素の割合

単位：％

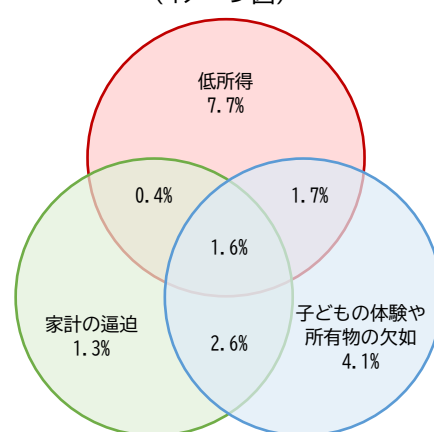
	平成29年度	令和6年度
①低所得	14.2	11.4
②家計の逼迫	7.7	5.9
③子どもの体験や所有物の欠如	9.5	10.0

生活困難度の割合

単位：％

	平成29年度	令和6年度
生活困難層	22.1	19.4
困窮層（①～③の2つ以上該当）	7.5	6.3
周辺層（①～③の1つ以上該当）	14.6	13.1
一般層	77.9	80.6

令和6年度 生活困難度の割合
（イメージ図）



生活困難度を測る3つの要素の定義

①低所得
世帯の可処分所得を世帯人員数の平方根で割り出した値（＝等価可処分所得）が、厚生労働省「令和5年国民生活基礎調査」の結果から算出された貧困線「136万円」を下回る世帯。
②家計の逼迫
過去1年間に経済的な理由で経験した「公共料金や家賃の滞納」、「食費や衣類の費用の切り詰め」など全17項目のうち6項目以上該当する世帯。
③子どもの体験や所有物の欠如
過去1年間に経済的な理由で子どもに関して経験した「子どもの進路の変更した」、「子どもの服や靴が買えなかった」など全11項目のうち、3項目以上該当する世帯。

しかしながら、ひとり親世帯や養育者世帯では、依然として生活困難層の割合が多い。

生活困難度別 世帯類型の割合

単位：％

令和6年度						
	全体	ふたり親 の世帯	ひとり親の世帯			養育者 世帯
			母子	父子	合計	
生活困難層	19.4	14.9	52.1	35.5	48.7	100.0
困窮層	6.3	4.0	23.2	16.7	21.8	66.7
周辺層	13.1	10.9	28.9	18.8	26.9	33.3
一般層	80.6	85.2	47.9	64.6	51.3	-

※養育者世帯＝父母がおらず、祖父母等が養育している世帯

②保護者の相談相手

「いざという時のお金の援助」に関しては、他の項目と比べて「頼れる人がいない」「人に頼らない」の割合が多くなっている。また、前回調査と比べて、相談相手がいない、または、相談しなかった保護者の割合は、全体的に、やや増えている。

相談項目別 相談相手の有無等

単位：％

設問項目	頼れる人がいる	頼れる人がいない	そのことでは人に頼らない	無回答
子育てに関する相談	93.9	2.9	2.1	1.2
重要な事柄の相談	91.6	3.7	3.0	1.7
いざという時のお金の援助	68.5	9.7	19.3	2.5
その他	54.2	5.1	4.8	35.8

困っていることについての相談相手がいない、または相談しなかった保護者の割合

単位：％

		平成29年度	令和6年度
全体		18.2	19.4
生活困難層	困窮層	38.2	45.9
	周辺層	28.3	27.5
一般層		14.4	16.2

③世帯の手取り収入

全体では、約5割が「400～450万円未満」から「700～800万円未満」に分布しているのに対して、生活困難層では、約6割が「50万円未満」から「200～250万円未満」に分布している。

生活困難度別 世帯の手取り収入

単位：％

区分	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満
全体	0.9	1.8	2.6	3.0	3.9	3.8	4.9	7.4	7.8
生活困難層	困窮層	3.0	9.0	12.0	17.3	17.3	7.5	3.0	9.0
	周辺層	5.8	9.4	13.8	12.7	15.9	6.2	5.1	9.8
一般層	-	-	0.1	0.4	1.0	3.2	5.1	7.0	8.8

単位：％

区分	450～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000万円以上	無回答
全体	8.1	13.1	10.7	7.4	4.2	3.0	7.5	9.7
生活困難層	困窮層	3.0	3.8	3.8	1.5	0.8	-	2.3
	周辺層	5.1	4.0	2.9	0.4	0.4	0.7	4.7
一般層	9.1	15.5	12.7	9.1	5.2	3.7	9.3	9.9

④経済的な理由で経験したこと

生活困難度が高まるにつれ、支出を抑制する世帯の割合が増えており、特に困窮層では「趣味やレジャー」、「新しい服や靴を買う」、「食費」の支出が抑制されている。前回調査と比べると、生活困難度に関わらず、支出を抑制する世帯の割合が増えている。

生活困難度別 経済的な理由で経験したこと（回答割合上位の抜粋）

単位：％

回答項目	一般層	周辺層	困窮層
趣味やレジャーの出費を減らした	33.7 (28.9)	56.5 (52.7)	89.5 (76.5)
新しい衣服や靴を買うのを減らした	33.1 (30.1)	60.5 (54.5)	97.0 (91.8)
食費を切りつめた	26.5 (21.0)	55.4 (50.9)	91.7 (90.0)
新聞や雑誌を買うのを減らした	9.3 (2.3)	26.8 (15.4)	54.9 (56.5)

※（ ）内は前回調査

⑤経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと

生活困難度が高まるにつれ、支出を抑制する世帯の割合が増えており、特に困窮層では「旅行やレジャー」、「おこづかい」の支出が抑制されている。前回調査と比べると、生活困難層（困窮層と周辺層）での支出抑制する世帯の割合が増えており、子どもの機会・体験が減っている世帯が増えている。

生活困難度別 経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと（回答割合上位の抜粋） 単位：％

回答項目	一般層	周辺層	困窮層
子どもを旅行やレジャーに連れていくことができなかった	14.5 (14.4)	47.1 (44.6)	90.2 (75.9)
子どもを学習塾やスポーツなどの習い事に通わせられなかった	5.1 (6.4)	34.1 (26.2)	65.4 (67.6)
子どもへおこづかいを渡すことができなかった、渡す額を減らした	4.1 (2.6)	30.1 (24.1)	80.5 (67.1)

※（ ）内は前回調査

⑥子どもの進学希望の理由

進学先を選択する理由として、「希望する学校や職業があるから」では、生活困難度が高くなるにつれて割合が少なくなっている。一方で、「家にお金がないと思うから」では、生活困難度が高くなるにつれて割合が多くなっている。

生活困難度別 進学希望の理由

単位：％

区分		希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全体		50.9	15.2	13.9	5.0	3.7	3.3	3.9	9.7	21.9	0.7
生活困難層	困窮層	40.7	19.8	11.6	4.7	3.5	10.5	5.8	8.1	27.9	1.2
	周辺層	46.6	15.5	13.8	5.7	2.9	5.7	5.7	10.9	20.1	1.1
一般層		52.1	14.6	14.0	5.0	3.7	2.4	3.6	9.8	21.8	0.6

⑦子どもの夏休みや冬休みなどの期間の昼食

夏休みや冬休みなどの期間の昼食については、生活困難度が高くなるにつれて「毎日食べる」と回答した割合が減っている。しかしながら、前回調査と単純比較はできないが、今回調査では、「毎日食べる」もしくは「週5～6日」と回答した割合が、一般層 96.3%、周辺層 91.8%、困窮層 92.2%と、やや改善している。

生活困難度別 夏休みや冬休みなどの期間の昼食の状況 単位：％

区分		毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	ほとんど食べない 週1～2日	無回答
全体		88.7	6.7	2.3	0.8	1.4
生活困難層	困窮層	79.8	12.4	3.9	2.3	1.6
	周辺層	81.5	10.3	4.4	1.5	2.2
一般層		90.5	5.8	1.9	0.6	1.3

生活困難度別 夏休みや冬休みなどの期間の昼食の状況【前回調査】 単位：％

区分		ほぼ毎日・毎日	4週に5日	2週に3回	1週に1回程度	食べない	無回答
全体		88.6	9.2	1.5	0.2	0.3	0.2
生活困難層	困窮層	79.6	13.2	6.0	-	1.2	-
	周辺層	86.1	10.9	1.8	0.6	0.3	0.3
一般層		90.0	9.4	1.0	0.2	0.2	0.2

⑧子どもの心身の不調

生活困難度に関わらず、一定数の子どもたちが心身の不調を抱えているが、生活困難度が高くなるにつれて、その割合が増える傾向にある。

生活困難度別 子どもの心身の不調 単位：％

区分		ねむれない	たよく頭がい	歯がいたい	ものを見つ	音が聞こえ	るがよいおなか	ひよくかぜを	ゆよく体が
全体		8.8	11.0	1.8	6.0	3.3	15.1	2.7	11.5
生活困難層	困窮層	8.5	17.8	0.8	7.8	6.2	22.5	3.1	15.5
	周辺層	12.5	12.5	2.6	6.6	5.5	17.7	4.1	12.9
一般層		7.9	9.9	1.7	5.8	2.8	14.2	2.4	11.0

単位：％

区分		ち不安になる	にまわりが	きやる気が	るいらす	その他	ないなとくに	無回答
全体		18.7	18.7	23.0	18.5	5.5	43.5	1.5
生活困難層	困窮層	26.4	24.0	26.4	21.7	4.7	34.1	4.7
	周辺層	22.5	24.0	29.2	24.0	5.5	33.6	1.5
一般層		17.6	17.5	21.7	17.0	5.7	46.3	1.1